第１７８号
発行日　平成１８年5月２７日
発行所　八王子の碁を楽しむ活きいき連合
住　所　南大沢５－９－１０－６０１
ＴＥＬ（０４２）６７５－１５８１
発行人　　竹 島　正 義
編集者　　渡 辺　己 三 男

## 碁楽連の目的

碁楽連は、八王子市内に居住する高年者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるようにその機会を提供し、高年者の福祉の増進に寄与することを目的とする。

http://www.asahi-net.or.jp/~jh8r-mtd/gorakuren/

## 活きいき地区大会の賞状は優勝者だけに・・・

活きいき地区大会ではいままで、3位までの入賞者に賞状をお渡ししてきましたが2位3位については賞状をもらってもそれほどのありがたみも沸かないとの率直な意見が少なからずありました。そこで今年度から賞状は優勝者だけにお渡しすることとしました。もちろん賞品は今までどおり3位までが対象となります。表彰式も対局終了後すぐにできるように当日は賞品だけの贈呈にとどめ、賞状は後日となります。今までは表彰式のときは、人数が少なくさびしい思いもしましたが、これからはぜひ大勢の方が残って入賞者を祝福してあげてください。

## 5段以下の優勝者も再出場できます

2 位、3 位の入賞者は他の活きいき大会に再度出場できることになったところですが、優勝者も再出場可能としました。これは、優勝者はすぐに段級位が昇格してハンデがきつくなりますので、他の参加者に特別の不利益は生じず、むしろ大会が活性化するとの考えによるものです。ただし、6 段以上の方は、地区大会で優勝しても段位が上がりませんのでその年度内は出場できません。

## 第１７回地区団体対抗囲碁会はじまる

（初戦の成績は７ページに掲載、写真右は長房－由井戦の１コマ・対局と局後検討）

## 第16回活きいき囲碁中野大会のご案内

日　　時　　平成１８年6月１８日（日）　　受付　午前9時00分～9時30分
会　　場　　中野市民センター（中野町2726-7　　電話 627-6221）
主　　催　　中野寿囲碁同好会（会長 六本木 茂　電話 691-4457）
後　　援　　八王子市、八王子市教育委員会
参加資格　　八王子市に在住している60歳以上で10級以上の囲碁愛好者
参 加 費　　７００円（弁当代を含む）
競技方法　　２ないし３のクラス別に行い入賞者に賞品を進呈します。
申 込 先　　会長　六本木 茂　　電話 691-4457
注意事項　　①自家用車でのご来場はなるべくご遠慮ください。
　　②失格にならないように定刻においでください。
活きいき囲碁大会での５段以下の優勝者も昇格後の段級位で再出場できます。

## 第16回活きいき囲碁大和田大会のご案内

日　　時　　平成１８年7月２（日）　　受付　午前9時00分～9時30分
会　　場　　大和田市民センター（大和田町5-9-1　電話 645-8980）
主　　催　　大和田寿囲碁同好会（会長 石田 利雄 電話 642-1738）
後　　援　　八王子市、八王子市教育委員会
参加資格　　八王子市に在住している60歳以上で10級以上の囲碁愛好者
参 加 費　　７００円（弁当代を含む）
競技方法　　２ないし３のクラス別に行い入賞者に賞品を進呈します。
申 込 先　　会長　石田 利雄　　電話 642-1738
注意事項　　①自家用車でのご来場はなるべくご遠慮ください。
　　②失格にならないように定刻においでください。
活きいき囲碁大会での５段以下の優勝者も昇格後の段級位で再出場できます。

# 地区同好会めぐり（第1回・由木）

今月から 11 回にわたり地区同好会めぐりと題して、「地区寿囲碁同好会」の紹介をそれぞれの同好会からしていただくことにしました。団体対抗では、「アッ　いつかお会いした顔」と時々思いながらも、普段どんなところでどんなお仲間とやっているのかわかりません。そこで、少しだけでも同好会のことを皆さんにお知らせいただければ、お互いいっそう親しくなれるのではないか・・・と企画しました。

第 1 回は、由木同好会からといたします。毎週日曜日午後の例会会場は、由木中央市民センターの和室、南大沢駅と八王子駅南口または聖蹟桜ヶ丘駅を結ぶ京王バスの「由木折返場」の停留所のまん前です。会費は 3 ヶ月で 900 円、常連は 12，3 名、かって女性がひとり来たことがあったのですが、残念ながら続かず、目下は男性ばかり。今は、壁に対局表を張り出してタイトル戦の真っ最中です。毎年、暮には忘年会で締めくくります。赤崎 7 段がいたころは、毎年団体戦をさらったことが懐かしく思い出されます。ところで、この会場は、大昔、ハイキングコースで知られた「野猿峠」から南大沢方向へ下ったところですが、野猿峠もいまや昔日の面影もない住宅地となり、野猿どころか猿一匹住んだことなどとても想像できません。

同好会の運営は、次の 3 人の方を中心に行っています。特に穂積会長代理は、こまめで世話好き、ほとんど毎週会場設営に骨折ってみんなから感謝されています。

穂積宏易　会長代理

杉渕　清　会長

長尾和美　副会長

# 囲 碁 雑 感

由木寿囲碁同好会長　杉渕　清

由木同好会は現在会員数24名で、上は七段から級位者まで幅広いがこじんまりした同好会である。毎日曜日持ち点制度による自由対局、リーグ戦による名人、王座、天狗選出、年一回の活きいき大会などの運営が主たる活動である。他の同好会の運営状況はよく知らないが、多分私達の活動に目新しいことはないと思われるので、同好会の近況報告からは離れるが、囲碁について普段思っていることを脈絡もなく書いて、割り当てられた責を果たすことにしたい。

最近同好会で気になっていることを書いてみたい。それは碁楽連の段級位の昇格システムについてである。最近碁楽連の昇段基準が甘いとかの議論があるようだが、その議論は措いておく。碁会所によって甘いところ、辛いところがいろいろだろうが、絶対的な評価基準などないわけだからある程度の甘辛は目くじらをたてることではない。私の場合は日本棋院、日本囲碁連盟、碁楽連から評価をいただいているがそれぞれ全部違う。でもそれで困ることはあまりない。普段対局する仲間のなかで、それなりの公平性が保たれれば対局は楽しめる。私が気にしているのはそれとは違う。同好会の中で研鑽を積み、あきらかに棋力が向上したのを多数の仲間が認めているのに、昇格するのが非常に難しいことである。碁楽連の中に昇格のシステムはあるよ、とおっしゃる向きが多いかもしれない。それは知っているが、それがかなりの難関である。この問題は入会時の格付け制度とも関連している。入会時謙虚に控えめな自己申告した人は、昇格が厳しいため現在の実力に見合った段級位が貰えず、満たされない思いをすることになる。高段者はともかく、努力によって日進月歩の向上が期待されるところに対しては昇格のバーがもっと低くても、碁楽連の権威を下げることにはならないと思うのだが。

別の話題である。碁は記憶のゲームではないという人もいるが、定石などは憶えているほうが有利なことは論を俟たない。定型化した碁形なども憶えているほうが戦いが楽になる。記憶向上法として私がやっている涙ぐましい努力を紹介したい。碁はいうまでもなく三次元の世界のゲームである。石を二次元の平面のどこに置くかということに、その石をどのようなタイミングで打つかという時間の次元が加わり三次元となる。囲碁の解説書はこれを紙という二次元で説明せざるを得ないから難しいことになる。時間のファクタを番号などつけて説明することになるが、煩雑になって記憶という作業には全く向かない。新聞などで棋戦の解説を読むのは楽しみであるが、それも序盤だけである。中盤以降石が混みあってくるとお手上げである。これは三次元の世界を二次元で説明する無理が起因しているのであろう。ここでパソコンの出番である。パソコンでは実際に打つのと全く同じ世界を体験できる。少なくとも時間（手順）を番号などで置き換えなくてもよいから憶えやすいはずだ。こんな屁理屈を並べて、参考になりそうなパターンにお目にかかったときは、極力それをパソコンに入力するようにしている。そして時々画面に再生して衰えた記憶を刺激するのである。この方法が棋力の向上に役立っているのかあまり自信はないが、実際の対局で自分が採録した碁形に出会うと、旧友に会った気分になり楽しくなる。

# ひとりよがり

南大沢研修部指導員　　塩路 孝夫

もう30年も前、イギリスのマンチェスター大学での工場管理シンポジウムに参加しました。ある教授がヒューマン・リライアビリティのテーマで発表し、事故、災害の80%は人的原因であって、これを防ぐには意志決定または行動の前に一寸時間をとると、効果が大きいことを、シミュレーション実験の結果で示されました。単純なことですが、常時実施することは難しいものです。帰途ロンドン郊外の箱庭のような美しいゴルフ場でゴルフをしました。一打毎に間を取ってヒューマン・リライアビリティを試しましたが、イギリスのコースは、フェアウエイは狭く、ラフは深くて、ロスト・ボール頻発で100叩きしました。然し、間を取るということは、直観的に状況判断を右脳でする時間を取ることだと気付き、その後一打の前に一呼吸の間を右脳でするリズムに変えた所、腕は上がらないが、スコアーがまとまり出し、大叩きしなくなりました。

先日NHKテレビの囲碁番組でトップ・プロが終盤大ポカを打って優勢の碁を落としたのを見ました。原因は分かりませんが、私は一呼吸間を取ればミスは防げたのではないかと思いました。囲碁は手筋と形を駆使して、敵を攻め、地を取るゲームですが、一手の重みは大変なものです。当然と思われる一手でも、一呼吸の間を取って右脳を働かせ、手拍子にならないよう務めたいものです。時間に追われる現代の碁では、特に間を取るのは難しい場合が多いでしょうが、日ごろからの訓練によって、無意識の中に一呼吸の間が取れるようになりたいものです。年をとって反応が鈍くなって来ましたが、この間を取ることにより、無意識に右脳を使うようになり、頭の老化を防げるようになるのではないかと愚考致しております。

囲碁の免状に、「所作宜敷」という文言があります。マナー、品格を保てということですが、日常の碁においても、闘志と共に、落ち着いた知性と雰囲気が望まれます。一呼吸の間がその一助になるんじゃないかと、勝手な独りよがりをしつつ、拙文を終わります。

（編集者註）

先月発行の「碁楽連だより」177 号７ページ相談役等の名簿の中で、塩路孝夫氏の電話番号が間違っておりました。正しくは、６７５－１９２７です。地区同好会に配布した名簿も同様に訂正してください。お詫びします。

# 4月の理事会報告

22 日と 30 日の 2 回開かれましたが、主な事項は次のとおりです。

1　理事の業務分担

留任理事の担当業務は、従来どおり山崎理事は会計、渡辺理事は広報、刀根理事は競技とし、新任理事については、当面競技を主に担当しつつ業務全般に習熟する。

2　会報について

名称を「碁楽連だより」とし、会員の家族にも見てもらえるような幅広い編集に勤める。

当面、地区同好会で作成した自会の紹介記事を順次掲載する。活きいき地区大会と研修部大会については、参加者数と入賞者名の掲載にとどめ、参加者個々の氏名は掲載しない。

活きいき地区大会の棋譜は、主催同好会で取っていただいたものを掲載する。

3　活きいき地区大会について

従来日本棋院の後援を受けていたが、地域性の強い地区大会については辞退するものとし、今後は碁楽連主催の大会に限って日本棋院の後援を受けることとする。

入賞者の表彰方法と優勝者の再出場については 1 ページに掲載したとおり。なお、碁楽連から主催同好会への大会補助金を増額する（詳細は、碁楽連会長から地区同好会長に通知済み）。

4　このほか、今年度の碁楽連の諸大会の会場の確保について市に要請した。また、碁楽連は現在市から補助金をいただく対象となっていないが、理事会として検討する。

5　地区団体対抗囲碁会に級位者の出場が少ないこと、会員数が同好会により最大 3 倍の開きがあることによる諸問題について協議されたが、今後引き続き検討することとなった。

# 原稿募集　薄謝進呈します

囲碁に偏らず、日常の出来事、ハイキング、旅行、ドライヴ、読書、音楽、短歌、俳句など・・・政治、宗教以外のことならなんでも OK です。また、同好会員のご家族からでも結構ですのでお待ちしております。匿名での掲載希望は、その旨お書きください。掲載させていただいた原稿については、薄謝を進呈します。

原稿送付先　　八王子市南大沢 5-9-10-601　　竹島　正義
電話・ファックス　０４２－６７５　　－１５８１
わしにろくな碁（は打てないが）囲碁は一番
E メールアドレス　　7z9u63@bma.biglobe.ne.jp

## 第１６回活きいき囲碁恩方大会の結果

平成１８年５月７日開催

参加者数６０名（恩方２７、元八４、台町３、浅川１、中野１、長房１、非会員２３）

Ａクラス（５段以上・参加者１８名）

優勝 福田　卓６段/恩方　　準優勝 小池晴高６段/恩方　　第３位 吉沢　實７段/恩方

Ｂクラス（４段～２段・参加者２４名）

優勝　加藤　司２段/非会員　３段に昇格
準優勝　新倉幹夫４段/恩方
第３位　小沢正巳３段/恩方

Ｃクラス（初段以下・参加者１８名）

優勝　小林　實初段/台町　２段に昇格
準優勝　山本良宣１級/非会員
第３位　横島清次初段/恩方

## 地区団体対抗囲碁会の結果

平成１８年度第１回　５月１４日開催

| | | | |
|---|---|---|---|
| 浅川　５勝 | 下重利雄６段 | 吉開孝之５段 | 小黒　尚４段 |
| | 中島義彦３段 | 永坂道雄２段 | 水野常昭初段 |
| 中野　１３勝 | 中田　勉６段 | 清水文彦６段 | 浅野照明６段 |
| | 藤野誠二３段 | 中村　靖２段 | 浜中訓行初段 |
| 由木　８勝 | 大場芙美夫７段 | 岡部隆男５段 | 杉渕　清４段 |
| | 菊池武男初段 | 西田　誠初段 | 伊藤　功１級 |
| 大和田　１０勝 | 藤井忠明７段 | 豊田弘伯５段 | 岡本昭二４段 |
| | 秀島照次３段 | 石田利雄２段 | 佐藤久雄初段 |
| 恩方　８勝 | 吉沢　實７段 | 新倉幹夫４段 | 荒井　正３段 |
| | 真辺保幸２段 | 田中正勝２段 | 小峰貞雄初段 |
| 元八王子１０勝 | 山下則文６段 | 吉田征也６段 | 郡司弘一５段 |
| | 長島　廣４段 | 高橋重二３段 | 柳　保治初段 |
| 台町　６勝 | 三上靖宏７段 | 塩津　浩５段 | 小造義勝３段 |
| | 添田悦男３段 | 本橋　茂初段 | 長原脩策初段 |
| 北野　１２勝 | 古賀照也５段 | 山本三好５段 | 山本金昭４段 |
| | 刀根正樹３段 | 平田弘一２段 | 若林松吉２段 |
| 長房　７勝 | 石川義秋５段 | 戸谷富美雄５段 | 松井　豊４段 |
| | 佐々木慶兆３段 | 笹本梅吉２段 | 高橋俊之初段 |
| 由井　１１勝 | 喜多村靖事７段 | 大藪成人６段 | 下田政男４段 |
| | 木所敏雄２段 | 渡辺己三男２段 | 小関眞満初段 |

（註）主催チームを上段に記載した。

昇段者誕生　　おめでとうございます

今年度第１回の地区団体対抗囲碁会で恩方同好会所属の新倉幹夫４段(新５段)と荒井正３段(新４段)は、それぞれ２勝し、昨年度からの通算成績がいずれも８勝１敗となったので、昇段しました。

## 編集後記

碁老連ニュース 176 号（今年 3 月発行）で、平成 3 年 1 月発行の第 12 号をお持ちの方がおられないかお尋ねしたところ大和田同好会の石田会長から提供していただき、これで創刊号からすべてそろえることができました。石田さんには厚くお礼申し上げます。

今回から「同好会めぐり」が始まりました。由木のあとは次の順番で行きますのでご準備のほうよろしくお願いします。

淺川、恩方、元八王子、中野、大和田、石川、由井、台町、北野、長房